



ごあいさつ



林 文子

横浜市長
(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー会長

横浜の開港を市民の皆様と一緒に祝いする「横浜開港祭」は、今年で33回目を迎えます。今年も、市民の皆様をはじめ、地元企業、団体の皆様からの多大なご支援、ご協力により、開港の地である横浜の初夏を彩る一大イベントとなりましたこと深く感謝申し上げます。

横浜開港祭は、市民が世代を超えて横浜港を舞台に奏でる大合唱や子どもたちが主役の絵画コンクールなど、市民参加型の催しが数多く開催され、多くの方々に楽しんでいただいております。

今年も、世界に開かれた歴史をもつ本市ならではのイベント「横浜開港祭」をより多くの方に知っていただき、ご参加いただけるよう、盛り上げてまいります。皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



齋藤 貢一

第33回横浜開港祭協議会 会長
一般社団法人横浜青年会議所 第63代理事長

市民の皆様は長年親しまれております横浜開港祭はお陰様で本年33回目を迎えます。ご支援・ご協力を賜り、関係者の皆様にはこの場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。第33回横浜開港祭は「Thanks to the Port」「開港を祝い、港に感謝しよう」～市民の笑顔と共に未来へ繋ぐ誕生祭～をテーマに開催し、市民の皆様と共にこの誕生祭を創り、お祝いができるよう準備をして参ります。

本年は5月31日、6月1日、2日の横浜開港記念日と3日間開催といたします。我々の原点である港に感謝をし、先人たちの功績に敬意を表し、横浜開港という歴史にしっかりと触れていただき、市民が積極的に参画することにより、横浜の更なる港の賑わい、街の賑わいへとつながる礎となることと感じております。この市民祭が横浜市民にとって欠かすことのない誇り高きものと感じていただき、親から次世代を担う子ども達へ、さらには孫の世代にいたるまですべての市民が一体となり、笑顔溢れる未来に永く繋がっていく「横浜開港祭」を創り上げて参ります。

何卒、関係御各位の深いご理解と変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。